

# 各務原市地域公共交通フォーラム

## ～私たちのまちの交通を考えよう～

今年の10月からのリニューアル運行を目指し、「ふれあいバス」の見直しを進めておりますが、公共交通の維持活性化のためには、行政・交通事業者・地域住民が三位一体となった取り組みを進めていくことが重要です。

今回の公共交通フォーラムでは、「地域」が主体となった「利用促進」の取り組みを紹介しながら「私たちのまちの交通を考える」ことをテーマに開催します。

### Program

13:30～13:35

#### ①開会挨拶

各務原市長 浅野健司

13:35～13:55

#### ②基調講演 「地域公共交通の今後のあり方について

岐阜大学 工学部社会基盤工学科(防災コース)教授

倉内 文孝 氏

13:55～14:40

#### ③事例発表

##### 「住民と創る地域の生活交通」

岡崎市 都市整備部都市計画課 交通政策室主任専門員

平松 隆 氏

##### 「地域が主体となったみどりっこバスの利用促進の取組み」

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会 会長

多田 喜代則 氏

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会 事務局長

山田 正行 氏

##### 「各務原市 ふれあいバスの運行状況、見直し状況」

各務原市 産業活力部商工振興課 商工振興係長

古田 希雄

14:40～15:30

#### ④パネルディスカッション

##### テーマ「公共交通の維持、活性化に向けた三位一体の取組み」

<コーディネーター> 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授

倉内 文孝 氏

<パネリスト> 中部運輸局 企画観光部 交通企画課長

山下 隆道 氏

岡崎市 都市整備部都市計画課 交通政策室主任専門員

平松 隆 氏

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会 会長

多田 喜代則 氏

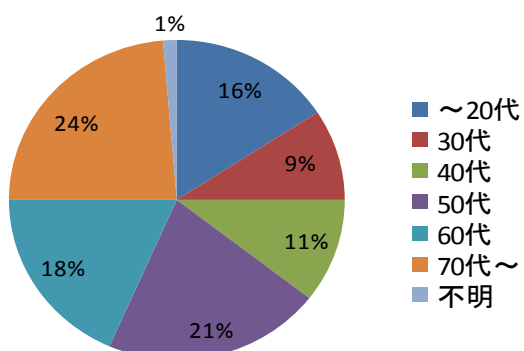
各務原市自治会連合会 会長

小島 秀俊 氏

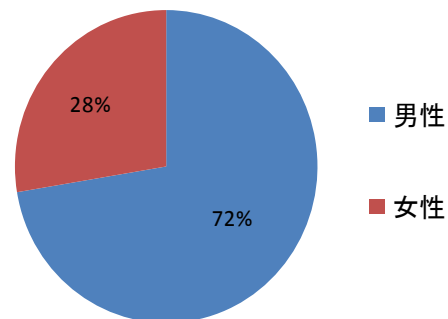
株式会社岐阜バスコミュニティ 取締役(運行・業務統括部長)

森 淳三 氏

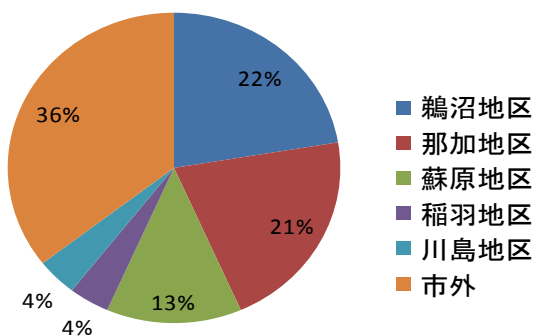
問1. 年齢



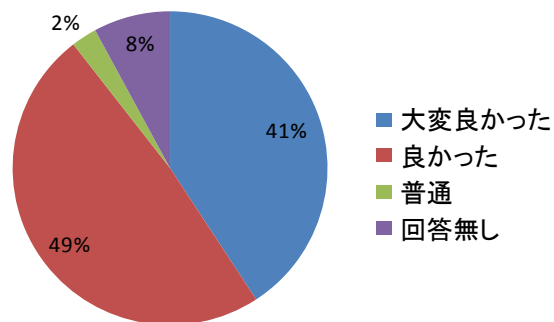
問2. 性別



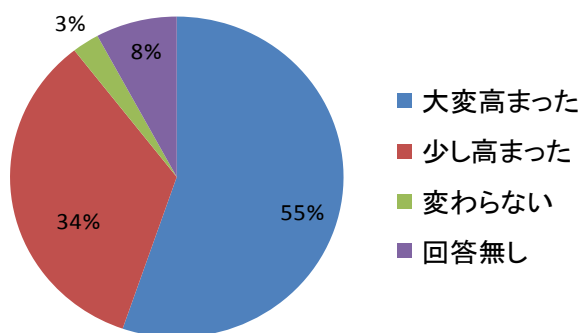
問3. 住所



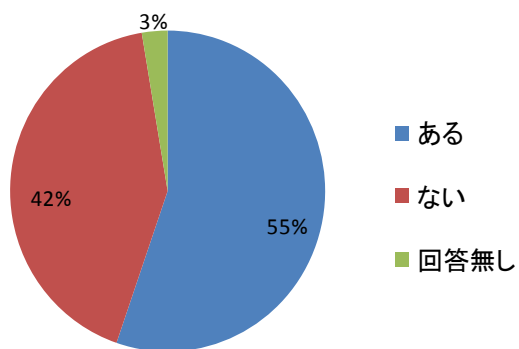
問4. フォーラムに参加して



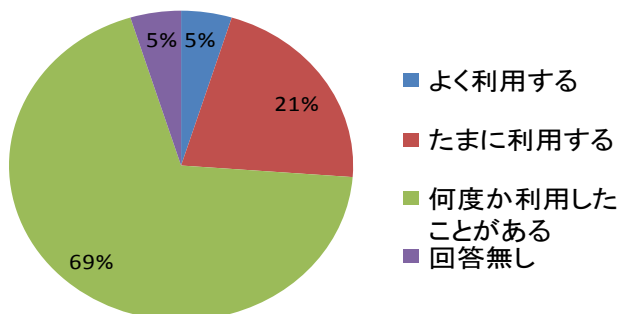
問5. フォーラムに参加して「ふれあいバス」への関心は



問6. 「ふれあいバス」の利用



問7. 「ふれあいバス」の利用頻度 (利用したことがある方のみ)



●フォーラムの感想（順不同）

- ・本日のフォーラム自体が一過性のもので終わらないという姿勢が示されていて良かったです。成功事例は刺激になったと思う。
- ・コミュニティバスの運行については、運営を行う事業所や行政だけでなく、利用する地域住民も自分で細かい方針や収益について考えることが、交通に対するニーズをきめ細かく把握でき、持続可能な交通サービスを実現するために必要であると気づくことができました。
- ・基本を学術専門者から伺い、他都市の実践的事例や問題点をお聞きし、パネラーの見解を聴いて、多段的構成のフォーラムで重層なものとなったと思う。当市への反映を進めたい。
- ・地域の参加が大切。思い切って、岐阜や岡崎の事例などを参考にしたらどうでしょうか？
- ・時間の配分に考慮が欲しい（十分な時間をつくって質疑も受け付けて欲しい）。
- ・他地域の取り組みが良く分かった。自分達の取り組み、働きかけがいかに必要か、改めて考えさせられました。
- ・関心はあるが不便で利用しなかったが、芥見東の自治会の活躍は素晴らしく、頑張るボランティアの方がいるからか…？見習うべき。
- ・今後に期待します。駅との時間調整をして欲しい。
- ・大変有効であった。
- ・大変良い企画だと思います。また機会があれば何回でも計画して欲しいと思います。
- ・色々知ることができて良かった。
- ・本数が増えることは大変良いことだと思う。公共施設、病院、学校、商業施設に立ち寄ることのできるコミュニティバスとしたい。
- ・みどりっこバス、岡崎市の事例発表を聞いて、先進的な考えのもとで企画されているので素晴らしいと思います。その主体となるのは地域の人々だと思い、自覚しました。
- ・大変良かった。市民が主体となって進んでいけたら良いじゃないですか。
- ・コミュニティバスの運行のみにとどまらず、地域の触れ合いやイベント等の町づくりに取組まれている芥見地区自治会の活動に感銘を受けた。
- ・コミュニティバスを継続して運行して頂くためには、地域住民も大いに利用していくことが必要だと痛感しました。
- ・どの方のプレゼンも上手で分かり易く良かった。各務原市職員のプレゼンも分かり易く、一生懸命やりたいという熱意が伝わってきた。終了時間が大幅に延長するのは良くない、事前に打ち合わせをしっかりとって欲しい。
- ・バスの再編が10月とのことだが、「今年」と「来年」の二つの言葉が出ていた。「今年」が正解なのは？
- ・岐阜バスの方はこの場を使って自社のバスロケのPRをしたいだけ？高齢者は携帯電話を持っていない人も多いのでは？
- ・芥見の活動が素晴らしい。地域住民が動けば、こんなに豊かな楽しい活動ができると思った。リーダーがとても重要だと思った。
- ・岡崎市や芥見東の先進事例を聞かせていただき、大変参考になりました。特にサポーター制に加え、利用者増に向けた諸事業の企画等、地域の結びつきにつなげるのが特に良かったです。

- ・ふれあいバスについての考え方が変わった。今まで利益優先で考えていたが、町づくりの一環としてのふれあいバスという考えが分かった。
- ・事例発表が良かった。参考になった。(女性の参画をいつも気にしている)
- ・今後は地域ベースで地域の利便性を考え検討すべきと感じた。
- ・他自治体の事例紹介、大変新鮮に感じた。取り組みに対するプロセスの詳細を聞き、自分の考えへのガイドラインになる気がした。
- ・みどりっこバスを立ち上げた芥見地区の方々に、敬意を表したいと思いました。私たちの地区にも「アッシー君」を上手く運用できるようになればと思っています。
- ・各務原市の強い意気込みが感じられました。平成27年10月のリニューアルに向けて頑張ろうという姿勢が見えて良かったと思います。成果に期待します。
- ・みどりっこバスの事例には驚いた。町づくりのなかに上手くコミュニティバスを取り込んで、しかも皆、楽しみながら色々な事業を展開している。先進事例として参考になるのではないか。ポイントは「人」であることは間違いないとは思いますが。
- ・各地域の様子が良く分かりました。
- ・バス交通の話は参考になったが、芥見東地区の宣伝はカットして欲しかった。
- ・行政にまかせるだけではないことは分かったが、まだまだ車社会である意識が強く、必要性を感じていない方の意識改革も必要と感じました。
- ・先進地の事例発表は大変良かった。参考にしたい。
- ・みどりっこバスの事例は、住民の方々が楽しく活動され、良い循環ができていると感じました。パネルディスカッションで話のあったサポーターは良い考えだと思いました。
- ・様々な内容で楽しめました。
- ・三位一体として、市民が主役になってバス運行を考える時代だと感じました。地域の町づくりと公共交通は一体になって考えることが大切。
- ・交通政策を担当する自治体として各務原市さんの再編の大変さが良く分かりました。各自治体ごと抱える問題は違いますが、またご相談させて頂ければと思います。
- ・事例発表がとても良かったです。とても勉強になりました。
- ・地域の取り組みの重要性が良く分かりました。
- ・大変参考になりました。レベルの高い意見が聞けて、満足しています。
- ・岡崎市の事例が興味深い。
- ・地域の規模によって様々であり、地域の大小、それに目的によって違うので果たして参考になるか？各務原は各務原の方法でやれば良いと思う。各地の意見を聞き、良くやっていると思う。
- ・とても良く考えた改定案をつくって頂けました。
- ・芥見市の地域住民のボランティアには感心した。我々各務原市も参考にすべきと思いました。

●その他意見（順不同）

- ・地域の既存組織（一番強いのは自治会かなと思いますが）を上手く活用して、地域を主体化させる必要があると思います。そのために収支等の情報共有をしていくことは重要かと思います。
- ・もう少し内容を詳しく知りたい。

- ・毎日利用したいと思うので、時間をはっきり知りたい。
- ・利用頻度のマップを見たが、東山地区は不便で利用しなかったことを加味してください。後期高齢者または免許証返納者は、無料にして欲しい。ICカードの導入も考えて下さい。
- ・芥見東、芥見南、岡崎市の先例を聴かせて頂いた。大変参考となるものであり見習いたいが、当自治会では無理。徐々に推進したい。
- ・もっと地域の人々の意見（希望）を聞く場を、自治会を通してでもつくって欲しい。高齢化が進行中、今後最も必要となるコミュニティバスだと思います。
- ・お店や公共の施設には、公共交通の最寄の駅やバス停の発車時刻を表示して欲しい。
- ・ふれあいバスの定時運行を心がけて欲しい。時間に合わせて、バスの変更ができないか？マイクロ、ミニバス等。
- ・今から五年後、十年後の姿を行政として明示して頂けたら…（高齢化率や町の中心部空洞化）。
- ・ふれあいバスがより便利になって、私たち住民の足として「アテ」にできるものになることを希望します。
- ・鉄道や既存バス路線との連携が大切。
- ・HP上で、本日の講演録を掲載すると良いと思います。
- ・サポーター制度は導入できると良いです。
- ・新しい見直しに期待しています。
- ・アクアトトへのアクセスが楽になると、とても嬉しい。
- ・このまま進めていけば良いと思う。改善さあれており、完全ではないが運行を楽しみにしている。
- ・各務原市に訪問する際に、鉄道、岐阜バス、ふれあいバスの時刻表を調べるのにそれぞれ別々の時刻表を見ないといけないので難儀します。スマホの乗り換え検索にバス検索できると、若い方にも利用してもらえらと思います。
- ・他地域の取り組みの良いところ、特に課題が理解できました。ただ、今回のフォーラムでは、「各務原市民の声」の部分で、掘り下げがいまいちと思いました。内容は、短い時間に詰め込みすぎの感がありました。ふれあいバスは、個人的には通勤に使いたいと思う時がありますが、現状は使い物になりませんので、その点も宜しくご検討願います。
- ・みどりっこの30分で一周が良いなあ。一回乗り継ぎで目的地に行く。川島から市民プールに行こうと時刻表を調べてみたけど。
- ・携帯ストラップがあると良いかなあ、と思います。
- ・ふれあいバスはマイカーのない方が利用されるわけで、いわゆる交通弱者の層の方々がどんなお出かけニーズを持っているのか、調査が求められる。交通全般は、市内の交通の動きを詳細に把握して、スムーズな流れのための骨組みの構築を進めていただきたい。
- ・少子高齢化や、犯罪増、振り込め詐欺との影響か、世代間の交流が極めて小さくなっております。自治会も、子供会や老人会等、各セクションの交流はあっても横の交流は全くない。みどりっこに習い、交流イベントを！！
- ・小学校区または中学校区単位で、自治会長を対象にした半強制的な研修活動を実施すべきだ（多少の苦情は気にしない）。各務須衛地区への対応をもう少し深く対応して欲しい。